

瀬戸内海環境保全特別措置法に  
基づく事前評価に関する書面

25年 2月 11日

申請人 住 所 奈良県橿原市十市町 333

氏 名 株式会社ジェイテクト奈良工場  
工場長 甲斐 哲治

TEL 0744 - 24 - 1111



## 事前評価に関する書面

- |                                                                            |       |
|----------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1. 許可申請の概要                                                                 | 別紙ー 1 |
| 2. 排水口の位置及び数<br>(施行規則第 4 条第 1 項第 1 号)                                      | 別図ー 1 |
| 3. 排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項<br>(同 第 2 号) | 別紙ー 2 |
| 4. 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項<br>(同 第 3 号)                              | 別紙ー 3 |
| 5. 第 1 号の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値並びに当該排出水の一日当たりの通常量及び最大の量<br>(同 第 4 号)   | 別紙ー 4 |
| 6. 排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法<br>(同 第 5 号)               | 別紙ー 5 |
| 7. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項<br>(同 第 6 号)                | 別紙ー 6 |
| 8. 結び                                                                      | 別紙ー 6 |

別紙-1

1. 許可申請の概要

(1) 工場又は事業場の概要

名 称	株式会社ジェイテクト奈良工場		
所 在 地	奈良県橿原市十市町333番地		
業種※	製造業	用途地域	準工業地域
主要製品※※	自動車部品製造		
特定施設番号	72号 し尿処理施設 (廃液処理施設を含む) 63号のイ 焼入れ施設 63号のホ 廃ガス洗浄施設 65号 酸又はアルカリによる表面処理施設 (1台増設)		
排 水 量	通 常	160 m <sup>3</sup> /日 (うち特定排水 160m <sup>3</sup> )	
	最 大	160 m <sup>3</sup> /日 (うち特定排水 160m <sup>3</sup> )	
排水処理方法	廃液水処理施設 (濃縮・凝縮・活性炭処理方式) 経由 合併処理洗浄槽 (凝集剤添加膜分離活性汚泥方式)		

- 備考 1. ※印の欄は、生活系し尿処理施設の場合は記載しないこと。  
2. ※※印の欄は、製造業以外の業種の場合は記載しないこと。

(1) 特定施設の設置又は変更の概要

ア. 施設の設置・変更の理由及びその概要

水質汚濁防止法施行令 別表第一 (第一条関係) 特定施設の設置

- ・六十五号 酸又はアルカリによる表面処理施設 アルカリ洗浄機の増設 1台

イ. 排水量及び負荷量の増減に関する概要

- ・変更なし

別紙1 - 2

2. 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業所の排水口の位置及び数

(1) 排水口の位置及び数

- ・河川放流口 1 か所 (浄化槽処理水排水口)
- ・別紙添付資料 4 給排水経路 フロー図
- ・別紙添付資料 4 排水系統図

(2) 排水系等及び排水経路の略図

- ・別紙添付資料 4 給排水経路 フロー図
- ・別紙添付資料 4 排水系統図

別紙-2

3. 排水口周辺公共用水域の環境基準その他環境保全上の目標に関する事項

放流先 水路・河川名	寺川			
環境基準（類型）	C			
環境基準点	吐田橋			

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	環境基準値	単位
カドミウム	0.003	mg/L
全シアン	検出されないこと	mg/L
鉛	0.01	mg/L
六価クロム	0.05	mg/L
ひ素	0.01	mg/L
総水銀	0.0005	mg/L
アルキル水銀	検出されないこと	mg/L
PCB	検出されないこと	mg/L
ジクロロメタン	0.02	mg/L
四塩化炭素	0.002	mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.004	mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.1	mg/L
ジス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	1	mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	mg/L
トリクロロエチレン	0.01	mg/L
テトラクロロエチレン	0.01	mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.002	mg/L
チウラム	0.006	mg/L
シマジン	0.003	mg/L
チオベンカルブ	0.02	mg/L
ベンゼン	0.01	mg/L
セレン	0.01	mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	mg/L
ふっ素	0.8	mg/L
ほう素	1	mg/L
1,4-ジオキサン	0.05	mg/L

(2) 上記類型の生活環境の保全に関する環境基準（ C 類型）

項目	pH	BOD	SS	DO	大腸菌数
基準値	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—

別紙3-1

4. 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項

(1) 周辺公共用水域の水質の現況

採水機関名 奈良県	分析機関名 景観・環境総合センター ※令和4年度環境調査報告書(水質編)
-----------	-----------------------------------------

水域 寺川			測定地点名 吐田橋							
現 状	月/日	時刻	pH	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサ 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m <sup>3</sup> /日
	1/10	12:35	8.9	3.2	5.1	5		0.83	0.046	
	2/2	12:25	8.3	4.4	7.1	10		2.0	0.084	
	3/2	11:40	8.6	5.0	7.5	15		1.3	0.05	
	平 均									
将来水質										
水域			測定地点名							
現 状	月/日	時刻	pH	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサ 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m <sup>3</sup> /日
	平 均									
将来水質										
将来水質										

別紙3-2

(2) 当該水域の現況に関する事項

- ・放流先に一部を農業用水での利水あり
- ・周辺住宅の生活排水が流入

別紙4

5. 工場又は事業場の各排水口における排水の汚染状態の通常値及び最大値

当該排水の1日当たりの通常量及び最大量並びに当該排水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現 況			設置（変更）後			負荷量の 増減
		通常	最大	※負荷量	通常	最大	※負荷量	
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)	160	160		160	160		
	pH	5.8	8.6		5.8	8.6		
	BOD (mg/l)	2.2	10	0.35	2.2	10	0.35	なし
	COD (mg/l)	8	13	1.3	8	13	1.3	なし
	SS (mg/l)	5	10	0.8	5	10	0.8	なし
	T-N (mg/l)	10	15	1.6	10	15	1.6	なし
	T-P (mg/l)	0.5	1	0.08	0.5	1	0.08	なし
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	pH							
	BOD (mg/l)							
	COD (mg/l)							
	SS (mg/l)							
	T-N (mg/l)							
	T-P (mg/l)							
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	pH							
	BOD (mg/l)							
	COD (mg/l)							
	SS (mg/l)							
	T-N (mg/l)							
	T-P (mg/l)							
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	pH							
	BOD (mg/l)							
	COD (mg/l)							
	SS (mg/l)							
	T-N (mg/l)							
	T-P (mg/l)							

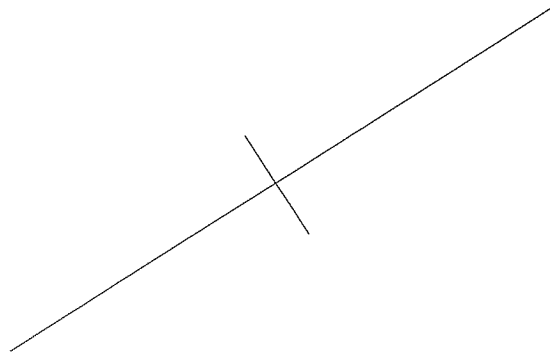
\*負荷量 (kg/日) = 最大排水量 (m<sup>3</sup>/日) × 通常水質 (mg/l) × 10<sup>-3</sup>



別紙5-1

6. 排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法

(1) 周辺公共用水域の範囲



(2) 予測の方法

予測は次の式による

$$S' = \frac{SQ + (\sum S_i Q_i - \sum S'_i Q'_i)}{Q + (\sum Q_i - \sum Q'_i)}$$

$S'$  : 将来水質 (mg/l)

$S$  : 現況水質 (低水流量時) (mg/l)

$Q$  : 低水流量 ( $m^3/日$ )

$S_i$  : 特定施設設置後の  $i$  排水口の平均水質 (mg/l)

$Q_i$  : 特定施設設置後の  $i$  排水口の最大排水量 ( $m^3/日$ )

$S'_i$  : 現状での  $i$  排水口の平均水質 (mg/l)

$Q'_i$  : 現状での  $i$  排水口からの最大排水量 ( $m^3/日$ )

別紙5-2

地点名 ( )

S' (BOD) = \_\_\_\_\_ =

S' (COD) = \_\_\_\_\_ =

S' (S S) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-N) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-P) = \_\_\_\_\_ =

地点名 ( )

S' (BOD) = \_\_\_\_\_ =

S' (COD) = \_\_\_\_\_ =

S' (S S) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-N) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-P) = \_\_\_\_\_ =

地点名 ( )

S' (BOD) = \_\_\_\_\_ =

S' (COD) = \_\_\_\_\_ =

S' (S S) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-N) = \_\_\_\_\_ =

S' (T-P) = \_\_\_\_\_ =

別紙6

7. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

(1) 分析管理体制

週1回 弊社放流水の水質分析を実施

(2) 放流同意書

なし

(3) スラッジの処理方法

スラッジはありません

(4) 事故防止策

1回/日の水質簡易点検実施、活性炭ろ過装置の設置 (既設)

(5) 公害防止協定

橿原市と環境保全に関する協定を締結 (平成26年9月22日)

8. 結び

以上のように環境に配慮し、環境負荷の低減を進めていきます。